

生活支援論

担当教員 宮里 邦子、吉光 清、濱田 輝一、中井 さち子、野崎 和義、福本 久美子、後藤 秀昭、筒井 睦、中川 武子、河谷 はるみ

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 本学の教育理念である「生活者の支援」について、その内容や基盤となる思想を理解できる。
2. ICFの概念を基に、質の高い生活を構築する要素について考えることができる。
3. 個々のQOLを高めるために、当事者と専門職（多職種）が協働する必要性を理解できる。
4. 生活支援にかかわる専門職（多職種）に求められる協働の態度を身につけることができる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	建学理念と、生活の見方・考え方（志賀・濱田）
2	生活支援－その根底にある理論－（野崎）
3	それぞれの専門領域が目指す生活支援 鍼灸（中井）
4	それぞれの専門領域が目指す生活支援 看護（宮里）
5	それぞれの専門領域が目指す生活支援 福祉（吉光）
6	それぞれの専門領域が目指す生活支援 口腔保健（筒井）
7	それぞれの専門領域が目指す生活支援 リハビリテーション（濱田）
8	地域包括ケアという考え方（その背景と施策の動向） 福祉（後藤）
9	多職種連携の実態と課題（卒業生）
10	当事者の思い・生活をICFモデルで整理しよう（手島・中川）
11	当事者参加の意義（陶山）
12	貧困と健康格差、その解決策としてのソーシャルキャピタル（福本）
13	消費生活から見える多問題家族と支援上の課題（徳村）
14	災害支援活動の実際（中川）
15	生活支援と社会保障（河谷）

【履修上の注意事項】

- 1) 本学の教育理念の理解を深める科目で、多様な立場、異なる専門を有する教員・外部講師がチームを組んで教授します。多角的な視点を養ってください。
- 2) 5学科の学生と一緒に受講します。積極的に他学科の学生と交流し、ネットワークを広げてください。
- 3) 社会福祉特講Ⅰ、法学Ⅱ（日本国憲法）と結び付けながら理解を深めてください。
- 4) 講義前に各テーマについての情報を収集し、講義終了後は授業のねらいと関連させて復習してください。

【評価方法】

レポート 100%

【テキスト】

必要に応じて、資料を配布します。

【参考文献】

講義毎に紹介します